

平尾官掌
使部兩人

右來十五日大坂遣幣寮開場御用濟夫ヨリ京都ニ五
日計滯留陸路ヨリ參向ニ相成候事

右御用ニ付出席張ノ事

青山神祇少佑

右ノ通候間為御心得申入候事 四年二月九日

四年五月

新貨條例ヲ發行ス

新貨條例

皇國往古ヨリ他邦貿易ノ事ヲナク貨幣ノ制度イマ
タ精密ナテス其品類各種ニシテ其價位モ亦一定セ
ス今其概畧ヲ擧ムニハ慶長金アリ享保金アリ文字
金アリ大小判金アリ一分金アリ二分金アリ二朱金
アリ一分銀アリ一朱銀アリ当百錢アリ大小數種ノ
銅錢アリ其他一時通用ノ貨幣ハ枚擧ニ達アラス甚
シキハ一國一郡限ノ貨幣アリテ今ニ至ルマニ體ニ
其一部ニ通用シ地方ニ流通セサルモノアリカク其
品類區々ニシテ方圓大小其價コ異ニミ混合雜取其
貨シ同ウセス抑貨幣ノ眼目タル量目ト性合トニ至

テハ始シト辨知スヘカラス新旧互ニ難用シ品位自
 ラ低下シ其間或ハ貨造ノ幣アリテ竟ニ今日ノ甚シ
 キニ馳致セリ偶々良性ノ貨幣ハ徒ニ富家庫中ノ
 貨物トナリ或ハ外國へ輸出セシス亦少ナカラス遂
 =諸品換用ノ能力ヲ失ヒ日用便利ノ道ヲ塞キ流通
 公益殆ント總ヘントスルニ至ル矣ニコレ天下一
 般ノ爲厄ニシテ万民ノ痛心更ニ之ヨリ大ナルモノ
 +シ今其縁由ニ尋蹕スルニ全ク一定ノ價位+クシ
 ニ善惡良否ヲ雜用スルノ曰弊ヨリ生スル事ナリ万
 今貿易ノ道確立ナル時ニ当リテ曰弊ヲ改メ精良
 新製ヲ設ケスンハ何ヲモコラ流通ノ道ヲ開キ富
 國ノ基ヲ立ンヤ是政府ノ責任ニシテ然モ燃眉ノ急
 務クリ故ニ去ル明治元戊辰ノ年ヨリ早クソノ功ヲ

起三莫大ノ經費ヲ厭ハス大坂ニヨイテ新ニ造幣寮
 ヲ建置シ壯大ナル器械ヲ備ヘ宇内各國貨幣ノ真理
 ヲ察知シ金銀ノ性質量目ヨリ割合ノ差等鑄造ノ方
 法ニ至ルマテ詳カニ普通ノ制ヲ比較尙量シ以テ精
 密ノ通用貨幣ヲ鑄造シ在來ノ貨幣ニ加ヘテ一般ノ
 漏通ヲ資ケントスルノ都合ヲ謀リ既ニ開寮ノ儀典
 ヲ完了セリサント天前ニ言ヘルコトク區々各種ノ
 貨幣多クレハ現場諸品ノ價值ヲ錯乱シ万民ノ迷惑
 ナルコトナレハ漸々新旧ヲ交換シテ在來ノ通寶ハ
 悪ク改鑄シ都ニ品類ヲ一定セシムントノ御趣意ナ
 リ且貨幣ハ天下万民ノ通寶タル主旨ニ基キ地金ヲ
 持參シテ引換ヲ望ムモノハ速クニ改鑄シテ通用
 貨幣ヲ渡スヘシサレハ今人ニ古来ノ田習ヲ襲ヒ重

代ノ寶物トセル古金銀ノ類モ數年十ラスシテ全ク
地金一樣ノモノトナルヘケレハ早々交換流通シテ
貨幣ノ真理ヲ失ハサル様注意スヘキ事肝要ナリ斯
ク新シニ造幣寮ヲ設ケシモ偏ニ万民ノ保護ヲ仕ス
ルノ職分ヲ盡スノ外他アルニアラサレハ万民亦能
ク此理ヲ會得シ各其務ヲ勉勵シテ天賦ノ職ヲツク
スヘシ仍テ今後ニ其次第ヲ揭示シ甚セラ新貨幣ノ
真形ヲ摹シ其量目品位表ヲ添ヘ且地金引換ヘノ規
則等詳細ニ附錄シ普ク國內ニ領布諭告スルモノ也

大政官

新貨幣例目

一新貨幣ノ稱呼ハ四。以テ起票トシ其多寡ヲ論文
ス都テ四。京稱ニ數字ヲ加ヘテ之ヲ計算スヘシ

但一圓以下ハ錢。一圓ノト種。一錢。十分一。トヲ以テ少數
ノ計算ニ用フヘシ
一貫則ハ都テ十進一位ノ法。用ヒ一厘十ヲ合シテ
一錢トシ一錢十ヲ併セテ十錢ト云セ。十錢十ナ
百錢ナ。以テ一圓。十ス一圓。ヨリ上十百千萬ニ至ル。イ
イ。ナ。トモ皆ナ十数ヲ合シテ一位ヲ進ム。其他半錢
五錢五十錢五円。如キハ十数ヲ半割シ二十錢二圓二
十円。如キモ亦一十ノ数ヲ倍スルマテニシテ固
ヨク。軌範ノ外ニ出ス
一厘ヨリ以下ハ別ニ精造。貨幣ナシト。是氏若シ計
算。ヨリ零スレハ毛縫忍微纖。以テ微少ノ数ヲ算ス
ヘシ。又萬ヨリ以上ハ十萬百萬千萬ニ至リ。千萬十
即ナ萬タカ。以テ一億トシ大数。ノ計算ヲ為スヘシ

卷之三

一新貨幣ト在來通用貨幣トノ價格ハ一四ヲ以テ一
兩即チ永一貫文ニ元ツヘシ故ニ五十錢ハ二分即
チ永五百又十錢ハ一兩ノ十分一即チ永百文一錢
ハ一兩ノ百分一即チ永十文一厘ハ一兩ノ千分一
即チ永一文ト相當ルヘシ但シ二十凹十四三十一錢
五錢半錢モ皆同様ノ割合タルヘシ

一 製算中金鉢細分ノ割合及其量目、者又眞形摸画
下ニ表出スルトキヘトモ洛和鑄造ノ檻體サノ
差アルヲ免カレス故ニ今各種ノ貨幣ニ就テ其不
得ニテ生スル量目ノ公差ヲ表出シテ以テ毛線

表差公目量

大数差		量目		量差		品位		全量		貨幣		重量		純金		分ノ内		混合物		百分		百分		百分		百分		
カラム	トロイ	ゲレイン	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム	トロイ	カリカム
四、六六五	七二、	一千	三二、四〇	二分、一	二分、一	二	二	三三、三分一	二六、三分三	五一、二	二五七、二〇	五一、七四	三〇、	一五、	七、五	三、	一、五	二三、一五	四六二、九七	二三一、四八	一一五、七四	四六、二九	二三、一五	四六六五	一、五五五	一、七七八	一、百 分	
三、一一〇	四八、	一千	三二、四〇	二分、一	二分、一	二	二	三、三分一	二、三分二	五一、四四	一二八、六	五一、七二	一、三〇、	一、三〇、	一、三〇、	一、三〇、	二五、七二	二五、七二	二三、一五	四六二、九七	二三一、四八	一一五、七四	四六、二九	二三、一五	四六六五	一、五五五	一、七七八	一、百 分
二、三三三	三六、	一千	三二、四〇	四分、一	四分、一	二	二	一、三分一	一、三分二	二五、七二	一六、二〇	二五、七二	一、三〇、	一、三〇、	一、三〇、	一、三〇、	二五、七二	二五、七二	二三、一五	四六二、九七	二三一、四八	一一五、七四	四六、二九	二三、一五	四六六五	一、五五五	一、七七八	一、百 分
一、五五五	二四、	一千	一六、二〇	四分、一	四分、一	二	二	一、三分一	一、三分二	二五、七二	一六、二〇	二五、七二	一、三〇、	一、三〇、	一、三〇、	一、三〇、	二五、七二	二五、七二	二三、一五	四六二、九七	二三一、四八	一一五、七四	四六、二九	二三、一五	四六六五	一、五五五	一、七七八	一、百 分

卷之三

銀一四

五
十
錢

二十錢

十
錢

五

國立公文書館

量目公差表									
位十 分ノ内 純銀 混合物	九百 百分	八百 百分							
重量 貨幣 純銀	一九、八	二、五	三、二	四、一	五、五	六、一	七、七、二	八、八、大	九、四、四
全量 貨幣 純銀	二六、九五六三	一、二、五	二、四、八、八	三、二、四、四	四、一、五、五	五、二、五	六、一、五、五	七、七、二、二	八、八、大、一
品位 純銀	二	二	二	二	二	二	二	二	二
量目 純銀	一、二分、一	一、二分、一	一、一、						
校数 純銀	一千								
校差 純銀	九、七、二、〇	九、七、二、〇	六、四、八、八	三、二、四、四	三、一、一、一	四、八、	二、四、	二、四、	一、五、五
大数差 純銀	六、二二一	四、六六五	三、一一、一	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五	一、五五五

一カラムミリカラムオニスケレイント日本量目ノ比較ハ在来ノ秤量ニトリテ聊ノ差アリトイヘト天變ニ其平均ヲ取テ之ヲ算シ左ノ略表ヲ以テ當分比較、定規トス。

ガラムメトリック	ゲレイン	トロイ	日生 量目	錢
一ミリカラム <small>一カラム千分一</small>	0.01542 <small>ゲレイン百分一</small>	0.0000266167	0.0000266167	
一サンタカラム <small>カラム百分一</small>	0.015435 <small>ゲレイン百分一</small>	0.0000266202	0.0000266202	
一デシカラム <small>カラム十分一</small>	0.015432	0.0000266202	0.0000266202	
一カラム	0.015432	0.0000266202	0.0000266202	
一デカラム	0.015432	0.0000266202	0.0000266202	
一ヘクトカラム	0.015432	0.0000266202	0.0000266202	
一キロカラム	0.015432	0.0000266202	0.0000266202	

大正癸未

一計録譜

一三リヤガラム

一五四三二七、

二六六二、一四〇七五

日本量目

ガラムメトリック

ゲレイントロイ

一絲

〇、三七五六ミリガラム

〇、〇〇五七九

一毛

三、七五六三ミリガラム

〇、〇〇五七九

一厘

三七・五六三七ミリガラム

〇、五七九七一

一分

二七五、六三七四ミリガラム

五、七九七一

一錢

三七五六五七四ミリガラム

五七、九七一

十錢

三七五六五七四ミリガラム

五七九、七一

百錢

三七五六五七四ミリガラム

五七九七一

一貫文目

三七五六五七四ミリガラム

五七九七一

一ダレイニハ

九一厘七毛二絲五忽

但一ダレイニハ六十四ミリガラム

一オシスハ

九八又二分八厘

但一オシスハ四百八十ダレイン

一本位新貨幣ト外國貨幣トノ價格ハ其國ノ制定ニ
ヨリテ各小差違アリトイヘト天暫ラク英佛米三
國ノ貨幣實價ノ品量ヲ較計スレハ左ノ略表ノ通
ナルヘシ

		貨幣	全量	差
		新貨十円	二百五十七毛三	十円ハ増
佛貨半圓	二百零八毛三	五百零一毛三	五百零一毛三	ハゲレインニ
十分中誠金九	二百二十四ダレイニヒロ	五百四十九毛九	五百四十九毛九	ハゲレインニ
混合物一	二十四ダレイニヒロ	五百四十九毛九	五百四十九毛九	ハゲレインニ
		佛貨ヨリ多キ	佛貨ヨリ多キ	
		誠金七ヶトニニ四七	誠金七ヶトニニ四七	
		混合物ヨリ少キ	混合物ヨリ少キ	
		但佛貨五十フラン	但佛貨五十フラン	
		二七九日本九四	二七九日本九四	
		三六二三百奇	三六二三百奇	
		ニ当ル	ニ当ル	
		有奇ニ当ル	有奇ニ当ル	

米貨 <small>ミヤク</small>	百五十九 <small>ヒジクナイン</small>
米金 <small>ミヤキン</small>	五百三十二 <small>ヒゴトシニ</small>
米合 <small>ミハ</small>	二十五 <small>ヒヂク</small>
米量 <small>ミリヤウ</small>	二当 <small>ヒヂマツ</small>
米金 <small>ミヤキン</small>	日本十四 <small>ヒンボクジヨク</small>
米合 <small>ミハ</small>	一厘二毫四有奇 <small>イリニイロヨウシキ</small>
米量 <small>ミリヤウ</small>	二當 <small>ヒヂマツ</small>

新貨幣品位量目表

径曲尺

一寸一分五厘七毫

量目

日本八匁八分七厘三毫六
西洋五百十四ヒジクナイン四一

生合

金九銅一

貨金位本圓十二裏表

貨金位本

圓十

表

摸様二十圓ニ同シ

徑尺九分七厘一毫

性合金九銅一

量目日本四又四分三厘六毫八
西洋二百五十七レーニ二

貨金位水

圓五

表

摸様二十圓ニ同シ

徑尺曲七分八厘七毫

量目日本二又二分厘八毫四
西洋三百七八レーニ二六

性合金九銅一

換様二十圓ニ同シ

徑尺五分七厘七毛

表

貨金位本

圓

裏

貨金位本

圓

表

量目

日本八分八厘七毛三六
西洋五十一ヶレイン四四

量目

金九銅一

徑尺

五分七厘七毛

表

換様二十圓ニ同シ

徑尺

四分四厘六毛

貨金位本

圓

裏

量目

日本四分四厘三毛六八
西洋二十五ヶレイン七二

金九銅一

貨銀位定

銭十五

表

一寸〇四厘

円一枚二枚以換

性合	量目	徑尺曲
銀八銅二	日本三又三分三厘九毫五 西洋百九十三ヶリニ	

摸様五十銭二同三

表

貨銀位定

銭十二

裏

円一枚五枚以換

性合	量目	徑尺曲
銀八銅二	日本一又三分三厘一毫七 西洋七十七ヶリニ	七分七厘

貨銀位定
錢五

裏表

摸様五十錢二同三

圓一換枚十二以

性合	量目	徑尺曲
銀八銅二	日本三分三厘二毛九二五 西洋十九ヶレイン三	五分

貨銀位定
錢十

裏表

摸様五十錢二同三

圓一換枚十以

性合	量目	徑尺曲
銀八銅二	日本六分六厘五毛八五 西洋三十八ヶレイン六	五分八厘

表

貰銭一

裏

圓一百枚換以

徑曲

九分

量目

日本反八分九厘七毫五
西洋百十ヶレイニ

摸様一錢三同三

表

貰銭半

裏

圓一百枚換以

徑曲

七分七厘

量目

日本九分四厘八毫七五
西洋五十五ヶレイニ

銀 圓 一 裏 表

合	量目	徑曲尺
銀九銅一	日本七又一分七厘六毫 西洋四百十六ナミニ	一寸二分四厘

銅 圓 一 裏 表

量目	徑曲尺
日本二分四厘一毛五 西洋十四ナミレーン	五分二厘

本位金貨幣即二十一、二十四、一、四、中、一、四、金、ニ、以テ、原、貨、ト、定、ニ、各、種、ト、モ、何、レ、ノ、拂、方、ニ、モ、之、ヲ、用、ヒ、其、高、ニ、制、限、アル、コ、ト、ナ、シ、

本位トハ貨幣、主本ニシテ他ノ準據トナルモノ
ナリ故ニ通用ノ際ニ制限ヲ立ルヲ要セズ元モ一
円金ニ以テ本位ノ基本ヲ定メ他ノ四種ノ金貨、天都
金ヲ以テ本位ノ基本ヲ定メ他ノ四種ノ金貨、天都
テ標準ヲ一円金ニ取レハナリ

定位銀貨幣即五十、錢、二、十、ハ、都、テ、補、助、ノ、貨、品、ニ、シ、
ヲ其一種又ハ數種ヲ併セ用アルトモ一口ノ拂方ニ
十四ノ高ニ限ルヘシ

定位ノ銅貨即一、錢、半、ハ、都、テ、一、口、ハ、拂、方、ニ、一、四、ノ、高、
錢一厘半ハ都テ一口ハ拂方ニ一円ノ高

○限り用エヘシ

定位トハ本位貨幣ノ補助ニシテ制度ニヨリテ其
價位ヲ定メ融通ヲ資フルモノナリ故ニ通用ノ
際コレヲ制限ヲ設ケテ交通ノ定規トス

各開港場貿易便利ノ為メ當分ノ内外人民、望ニ
應シ一円銀貨ヲ鑄造シ之ヲ貿易銀ト為シテ通商
ノ流融ヲ資ケヘシ

此一円銀ハ全ク各開港場輸出入物品其他外國人ヨ
リ納ムル諸税及日本人外國人ト通商ノ取引ニ用フ
ルミニシテ内地ノ諸稅納方等公ナル拂方ニ用フ
ヘケサルハ勿論其他一般ノ通用ヲ得サルヘシサ
レトキテ私ノ取引ニ付相對ノ示談ヲ以て受取渡シタス
合ハ何レノ地ニテモ勝手次第タルヘシ

各開港場諸稅受取方ニ付一圓銀ト小位金貨トノ價格比較ハ當分銀貰百圓ニ付小位金貨百口一圓ノ割合ナルヘシ

古通用制限ハ元來貨幣ニ原本ト補助トノ別アル所以ノ理ニ基キテ制定セシモノナレハ人々取引ノ節右ノ制限ニ照準シモシヨレニ越レハ誰ニテ天請取渡ヲ拒ムノ道理アルヘシサレトモ私ノ取引ニ付便宜ノ為ニ對談コ以テ請取渡イタシ候儀ハ全ク相互ノ都合ニ従フ苦ナレハ右制限ニ不拘勝手次第ニ交通イシシ不苦候事

大藏省

通用貨幣ノ儀從來政府ヘ引揚吹替致來候久今般普通ノ公理ニ被鳥基公平ノ御所置コ以テ來ル辛未六

月十六日ヨリ大坂造幣寮ニヨリテ左ノ規則ノ通中外人民ノ望ニ應シ金銀地金並古金銀又ハ外國貨幣等ニ至ルマテ其名目ニカハラス都テ質價ニ比較改訂シ貨幣相渡可申事

太政官

造幣規則

第一條

造幣寮地金局ハ永ル六年十六日即西洋一千八百七十一年第八月二日ヨリ左ニ掲載スル休日ヲ除クノ外毎日朝事十字ヨリ午後第一字マテ地金受取ノタゞ之ヲ開ラクヘシ

休暇表

毎日曜日	正月元日マヨリ	正月七日
	正月十五日	

明治四年

三月三日	正月五日	七月七日	七月十四日ヨリ
九月九日	九月廿二日	十二月廿八日ヨリ 三十日マテ	十六日マテ

万ニ非常ノ變事ニヨリテ造幣ヲ休ムコトアラハ勿論地金受取方ヲ漸ルヘシ

但此場合ニオイテハ速ニ其由ヲ布告スヘシ

第三條

品位並價格ヲモ詳明ナル金地金並外國金貨幣ハ百五十オントロ^一口^二凡^三貫二百以上ノ高ナラハ地金局長即チ造幣権頭直ニ之ヲ受取ルヘシ

第四條

品位並價額トモ詳明ナル銀地金並日本或ハ外國銀貨幣ハ二十オントロ^一口^二凡^三六十六貫^四以上ノ高ナラ

品位並價額トモ詳明ナル銀地金並日本或ハ外國銀貨幣ハ二十オントロ^一口^二凡^三六十六貫^四以上ノ高ナラ

ハ之ヲ受取り造幣規則ニ従テ本位金貨ヲ以テ拂ヒ渡スヘシ尤古地金持參ノ者一円銀ヲ望ムトキハ造幣寮ノ都合ニヨリテ之ヲ渡スヘシ

銀地金ノ代リハ當分ノ内純銀十六ニ純金一ノ割合ヲ以テ拂フヘシ

第五條

品位並價格ヲ詳明ナラサル全或ハ銀地金並外國金銀貨幣ハ假ニ受取置試驗溶解ノ上今折シテ其品位ト價格トヲ明ニシ造幣適當ノ品ナラハ之ヲ受取ルヘシ

但其高金地金ハ第三條銀地金ハ第四條ト同様タルヘシ乞造幣適當ノ品量ハ別ニ造幣寮ニオイテ取究ムル定期ニ従フヘシ

一分銀ヲ除クノ外日本金銀貨幣ハ都テ此條例ニ準

スヘシ

第六條

右試験溶解ノ上分析セシ金或ハ銀地金又ハ金銀貨幣造幣不適當ナラハ之ヲ當人ニ返却シ試験溶解並分析ノ手數料ヲ納メシムヘシ

試験溶解並分析ノ手數料ハ造幣寮ニオイテ取扱ユル定價ニ従テ納メシムヘシ

第七條

造幣寮ノ便宜ニヨリテハ造幣不適當ナル金或ハ銀地金又ハ金銀貨幣ヲ唯精製ノ為メニ之ヲ受取ルコトアルヘシ

但其高金地金ハ第三條銀地金ハ第四條ト同様タ

ルヘシ尤古精製料ハ造幣寮ニ於テ取扱ユル定價ニ従テ納メシムヘシ

第八條

造幣寮ニ於テ造幣ノ為メ金或ハ銀地金又ハ金銀貨幣請取濟、上ハ鑄造手數料ヲ引去、第四條ニ照準ミテ本位金貨又ハ一円銀ヲ以テ其受取りシ日ヨリ三十日間ニ拂フヘキ令狀ヲ渡スヘシ

但右令狀ノ高ハ日本人ハ大坂ニアル御用当替座外國人ハ同所ナル日本政府ノ外國為替方オリ工業タルバンク社中ニテ本文日限中ニ拂ヒ渡スヘシ

第九條

本位金貨鑄造ノ手數料ハ當分ノ内百ニ付一、ナル

一四銀鑄造、手數料ハ當分、内百二十、ナルヘシ
金銀混合、地金ハ此部内ニ萬スハ五百オノストロ
凡四十又百以上ノ高ナニハ造幣寮ニ於テ之ヲ預リ
精製分析、上其價ヲ定メテ後金ク之ヲ請取ルヘシ
但右精製分析料、定方ハ第七條、手続通リタル
ヘシ

第十二條

碧捐セシ本位金貨幣ハ千ニ付五、一四銀ハ千ニ付
十、手數料ヲ差尤ス上ハ其量目文、價ヲ以テ再

鑄ノ鳥々之ヲ受取ルヘシ

第十三條

一分銀ハ二千オノストロ百六十六貫五墨西哥ドル
ラルハ百オニストロ百八十八以上ノ高ナラハ再
鑄ノ鳥々各開港場ニオイテコレヲ受取ルヘシむ其
他、金銀貨幣又ハ金或ハ銀地金ハ試験溶解ノ上ナ
ニテハ其品位定ム難ケレハ大坂造幣寮ニ限リ之ヲ
受取ルヘシサレトモ所持人ノ望ニヨリ送テ新貨幣
ヲ拂テ渡ストキ異論ナキ為ヘ左ノ証書裏面ニ記載
セル造幣規則ノ下ヘ承諾、旨ヲ認メ自分ノ姓名ヲ
手記スレハ各開港場ニテモ之ヲ受取ルヘシ
受取証書雛形

證

干支何番

品位未定

(用印)

金銀地金何引

凡積代價

年号干支月日

姓 名

印

此証書裏面ニ造幣規

右之高裏面ニ記載スル造幣規則ニ従テ造幣ノ
為々大坂造幣寮ニ送ルヘキニ付正ニ落手セリ
但新貨幣渡方ノ儀ハ追テ造幣寮ヨリ申越通り
タルヘシ

所持人名家
追テ試驗溶解ノ上造幣不適當ノ節ハ精製ヲ
願フ哉否豫シス書面ヲ以テ申立置クヘシ

第十四條

右受取方神戸横濱ニテハ日本水人所持ノ分ハ御用為
督座外國人ハ外國為督方ナリエンタルバンク社中
ニ於テ取扱ヒ長崎箱館新鴻ハ日本人外國人共同所
運上所ニ於テ取扱フベシ

第十五條

大坂ヲ除クノ外各開港場ニテ日本及ヒ外國貨幣又
ハ金或ヒ銀地金ヲ約・造幣ヲ望ム者ハ定日數三十
日ノ外往返日數並運賃危難請負等左ノ略表通リ心
得ヘシ

地名	往返日數	運賃並危難請負料
神戸ヨリ大坂迄	二 日	百二付〇・二五
横濱ヨリ同	十五日	百二付一・二五

明治四年

長崎ヨリ同

十五日

百二付一、七五

新潟ヨリ同

四十五日

百二付四、二五

箱館ヨリ同

三十日

百二付三、二五

第十六條

此規則實際試験ノ上寧用ト思フ廉アレハ何時ニテ
モ猶改正追加スヘシ

但其節ハ速ニ其由ヲ布告スヘシ

右之通相定候事

大藏首

○内外人民ノ地金鑄造ニ着手スルハ四年六月ニ在

リ

大藏首同

造幣章發開新貨幣御發弘ニ付テハ別紙ノ通中外人

民ハ夫々御布告相成且新貨幣品位量目並並用制限
在來貨幣相当ノ價位及造幣規則等別紙ノ通相定申
度則書類取調差上候間至急御決議相成都テ上岸致
三牌遠ノ地ニ三晉ノ行涉ノ候様社度尤モ各國公使
引合ノ儀ハ此程同ノ上書翰ノ以テ申達ニ尚横濱於
ニ會議致ニ候處造幣規則ニ至リ未夕協議致ニ無候
間近々再應會議ノ上確定候様仕度此段奉同候也四年

正月

大藏

大藏首上申 諸官宛

造幣ノ儀ニ付並テ同濟ノ趣ヲ以此程大隈參議横濱
表出張ノ上各國公使ハ談判ノ遂ニ最前相同意規則
書其外取捨致ニ別紙ノ通決定ナシ候間此段御面
申候毛内地御布告等ハ尚取調相同可申候ハ氏不取

取右申進置候也 四年五月七日

大藏首同 辰官家

新貨幣脚銭弘ニ付内國一銀御布告ノ儀最前取調同定ノ上彫刻申付候處此程本位更革ノ儀モ御決定相成夫々釐正可致鑑々モ出来イタシ候ニ付尚篤ト校正ヲ加ヘ別紙、通改テ彫刻申付候様仕度乞在來、通用貨幣ト新貨幣ト、價位相当表、義モ別紙ノ通同様彫刻申付齊シク御布告相成候ハ、自然人民各種貨幣、實價ニ了得ナタシ徒ラニ虛買ニ趨リ賣買假様ノ弊害ニ相除可申ト奉存候、依之別紙書類添此段奉伺候也四年五月十五日別紙草案署之以下全二組シ原本ニ書類不足ニ似タリ

再伸造幣規則中ニ掲載シ候造幣適當ノ金銀

地金品量其外精製料分析料定價ノ儀ハ造幣寮ニ

於テ寫ト取調都テ彫刻表出可仕奉存候

同ノ通 四年五月廿日

○四年七月九日造幣規則第ハ條追書及立茅十四條改正(次ニ載ス)印ハ首ク

○四年九月十三日量目表中正誤(第二編制度部貨幣門ニ載ス)

○四年九月新貨一覽表重版許可ノ際違冥衍文等ヲ改正ス(全上)

○五年二月五日例中本位金貨壹圓表面圖中丸龍ノ模様ヲ走円ノ文字ニ改ム(全上)

○五年三月八日例中定位銀貨五錢表西圓中丸龍ノ模様ヲ走円ノ文字ニ改ム(全上)

○六年十一月十四日金銀貨寸法量目改正(全上)

○六年二月十日五拾錢以下定位銀貨幣ノ模様改正
(全上)

○六年八月二十九日銅貨幣中貳錢ノ一種ヲ加ヘ各
種圖面等改正(全上)

○六年十二月十九日貨幣例目ノ末條ヲ削リ規則第
四條ヲ改正ス(全上)

○七年一月十三日銅貨幣本年二月一日ヨリ發行ス
ルヲ布告ス(全上)

○七年二月十七日規則第十四條追加(全上)

○七年三月二十日毫圓銀貨表裏模様改正(全上)

○七年三月廿三日規則第十四條追加ヲ第一條追加
ニ改正(全上)

○七年九月七日規則第十條貿易銀鑄造手數料改定

(全上)

○八年二月廿八日從來鑄造ノ一圓銀ノ貿易銀ト改
・表裏・摸様等改正(全上)

○八年四月廿日造幣規則改定(全上)

○八年四月廿二日貿易銀數位ノ計算法ヲ定ム(全上)

○八年六月廿五日貨幣條例ト改ム(全上)